

GPS/JIPS 安全性要約書

1. 物質名 (Substance Name)

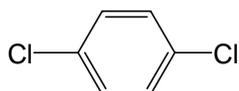
パラジクロロベンゼン (1,4-dichlorobenzene、paradichlorobenzene)

2. 物質の概要 (General Statement)

パラジクロロベンゼンは白色の固体である。防虫剤や消臭剤、ポリフェニレンサルファイド (スーパーエンジニアリングプラスチックの1種) の原料などに用いられる。暴露される可能性のある作業においては、適切な保護具の着用を推奨する。防虫剤などの用途では消費者が触れる機会があるため、換気のよい場所で取扱うこと、また、製品に付属の取扱説明書があれば、これに従って使用することを推奨する。

3. 化学的特性 (Chemical Identity)

一般名: パラジクロロベンゼン (p-dichlorobenzene) P D C B
 化学名: 1,4-ジクロロベンゼン (1,4-dichlorobenzene)
 CAS No.: 106-46-7
 化学式又は構造式: $C_6H_4Cl_2$

**4. 用途 (Uses and Applications)**

一般向け

防虫剤およびトイレ・ごみ容器等の消臭剤に用いられる。

産業向け

ポリフェニレンサルファイドの原料として用いられる。その他に染料中間物、農薬中間体などにも用いられる

5. 物理化学的特性 (Physical / Chemical Properties)

外観: 結晶 (常温)、液体 (53 以上)
 色: 白色 (固体)、無色 (液体)
 臭気: 強い臭気、臭いの閾値¹⁾; 15 ~ 30 ppm
 密度: 1.458 g/cm³ (20)²⁾
 沸点: 174
 融点: 53
 引火点: 66 (密閉式)
 爆発特性: 爆発限界 下限; 2.5vol% 上限; 16vol% (空气中)
 自然発火温度: 413
 蒸気圧: 170Pa (20)、1.33kPa (55)

6. 人健康影響安全性評価 (Health Effects)

パラジクロロベンゼンは、消化管及び呼吸器から速やかに吸収され、主に脂肪組織に分布する。肝臓のチトクロム P450 により代謝され、主に尿中に排泄される。ヒトの眼と鼻の刺激は 50ppm から現れ、ヒトの気道刺激は 160ppm から現れる。反復投与での主な標的臓器は肝臓及び腎臓であり、神経毒性も

見られる³⁾。

10 . 法規制情報 / 分類・ラベル情報 参照

7 . 環境影響安全性評価 (Environmental Effects)

水生環境有害性 (急性)	水生生物に毒性(レベル 1)
水生環境有害性 (慢性)	水生生物に毒性(レベル 1)
生物蓄積性	高濃縮ではないと判断される。

8 . 暴露 (Exposure)

作業者暴露	製造時は閉鎖系での作業に用いられ、作業者に対してはほとんど暴露の可能性がない。パラジクロロベンゼンを原料とした他の製剤等の製造作業においては、原料投入、製品の成型、包装等の作業で、作業者に対して吸入および経皮の暴露の可能性がある。
消費者暴露	防虫剤及びトイレ・ごみ容器等の消臭剤として用いられ、吸入および経皮暴露の可能性がある。
環境暴露	防虫剤及びトイレ・ごみ容器等の消臭剤として用いられ、大気および水中への放出が生じやすい。

9 . 推奨リスク管理措置 (Risk Management Recommendations)

作業者暴露	適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れたりしないようにする。
消費者暴露	取扱いは換気の良い場所で行い、漏れたり、あふれたり、飛散したりしないよう注意し、みだりに蒸気を発生させない。また、製品に付属の取扱説明書があれば、これに従って使用する。
環境暴露	環境に影響を与えることのないよう、河川等への排出に注意する。
注意事項	光が当たると微量のポリ塩化ビフェニル(PCB)を生成するので容器を遮光し、冷暗所に保管すること。また、取扱い中は遮光措置を講ずること。

10 . 法規制情報 / 分類・ラベル情報 (Regulation / Classification and Labeling Information)

●消防法	第 4 指定可燃物、可燃性固体類 [3,000kg]
●航空法	危険物その他の有害物件 (S 等級 3)
●化審法	3-41 優先評価化学物質
●化学物質排出把握管理促進法	第 1 種指定化学物質
●労働安全衛生法	指針公表化学物質 (がん原性) [パラジクロロベンゼン]
●労働安全衛生法	名称等を通知すべき有害物 (441 パラ - ジクロロベンゼン)
●船舶安全法	有害性物質 (国連番号 3082 環境有害物質)
●海洋汚染防止法	有害液体物質 (X 類) [20 ジクロロベンゼン]
●海洋汚染防止法	P [国連番号 3082 環境有害物質 (液体)]
●海洋汚染防止法	査定物質 (X 類同等の有害液体物質) [8 パラジクロロベンゼン]
●特定有害廃棄物輸出入規制法	ハロゲン化有機溶剤
●大気汚染防止法	有害大気汚染物質 [89 p - ジクロロベンゼン]
●廃棄上の注意	廃棄においては、廃棄物処理法、PCB 特別措置法などの関係法規や地方自治体の条例に従うこと。 容器は洗浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に行う。

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル：



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	飲み込むと有害のおそれ
	軽度の皮膚刺激
	眼刺激
	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	遺伝性疾患のおそれの疑い
	発がんのおそれの疑い
	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
	血液系、肝臓の障害
	長期的にわたる、または反復ばく露による呼吸器、肝臓、神経系の障害
	長期的にわたる、または反復ばく露による腎臓の障害のおそれ
	水生生物に非常に強い毒性
	長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

1 1 . 発行・改訂日 (Date of Issue / Revision)

初版 2012年7月31日

1 2 . その他の情報 (Additional Information)

引用文献

- 1) NIOSH Occupational Safety and Health Guideline for Chemical Hazards
<http://www.cdc.gov/niosh/pdfs/0190.pdf>
- 2) NEDO 技術開発機構、産総研化学物質リスク管理研究センター共編 詳細リスク評価書シリーズ7
p-ジクロロベンゼン (丸善)
<http://unit.aist.go.jp/crm/mainmenu/1-11-1.html>
- 3) JETOC OECD SIDS初期リスク評価プロファイル
http://www.jetoc.or.jp/HP_SIDS/htmlfiles/106-46-7.htm

1 3 . 免責条項 (Disclaimer)

GPS/JIPS安全性要約書は、対象品の概要を提供するものであり、リスク評価のプロセスおよびヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を提供するものではありません。また、安全性データシート (SDS) や化学品安全性報告書 (CSR) などのリスク評価に代わる文書として作成されたものではありません。記載内容は、本要約書作成時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。

以上